

# つながりあう世界と福岡

国際協力・交流を行う団体が一堂に会し、活動を紹介するイベントです。  
NGO、国際協力、国際交流に興味のある方、ご来場をお待ちしています！



## 報告書

国際協力フェスタ

# 地球市民どんたく2015

2015年11月14日(土) ▶ 15日(日)

アクロス福岡 2階交流ギャラリー・セミナー室2

福岡市中央区天神 1-1-1

11:00~17:00

入場  
無料

# 地球市民どんたくについて（コンセプト）

私達実行委員会は、国際協力・国際交流に対する市民の理解や関心を高めるとともに、地元福岡で活動するNGO等の相互ネットワークの構築を目的に毎年この「地球市民どんたく」を開催してきました。

2015年度は第17回目の開催となりました。

サブタイトル：「つながりあう世界と福岡」

「福岡」は、人・物・お金・サービス・交流・支援など、いろいろな面で世界の各国・各地と直接つながっていて、しかもその距離が急速に縮まってきています。こういう中で、私たちがどう世界と関わればよいのかを考える契機となればという思いから、このサブタイトルを決定しました。

## 組 織

福岡をベースに国際協力・国際交流活動を行っているNGOなど15団体（JICA九州を含む）で実行委員会を組織しました。

主催：地球市民どんたく実行委員会

共催：公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団、独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA九州）、福岡市

協賛：公益財団法人西日本国際財団

後援：特定非営利活動法人九州海外協力協会、公益財団法人福岡県国際交流センター、福岡市教育委員会、

朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、

テレビ西日本、福岡放送、TVQ九州放送

協力：総合学園ヒューマンアカデミー福岡校

## 企画・運営

（企画）

若い世代に国際協力・国際交流へ関心をもってもらうために、中高生を対象に「つながりあう世界と福岡」をテーマとしたポスターコンクールを実施いたしました。

（運営）

業務を広報班・イベント班・ワークショップ班・会場設営班・進行管理班の5班に分け、各団体にいずれかの班に所属してもらい、その班の取りまとめ役を「役員」が行うこととしました。主要事項は「役員会」で決定していきました。これにより、全団体が参加する会議数を減らし、意思決定をスピーディーに行うことが可能となりました。

当日ボランティアとしてご参加いただいた高校生からシニア世代まで延べ42人の皆さんには、スタンプラリーやワークショップ等運営に多大な貢献をしていただきました。さらに、会場MCとしてご協力いただいた「総合学園ヒューマンアカデミー福岡校」の6人の学生さんには会場を大いに盛り上げていただきました。



役員会



第2回 ボランティア説明会

## プレイベント：出展団体のパネル展

日時 11月9日（月）～11月13日（金）

場所 市役所本庁舎1階ロビー



11月14日・15日のイベント本番へ来場者を誘致するため、プレイベントを行いました。

---

日時 11月14日（土）、15日（日） 11:00～17:00

会場 アクロス福岡2階 交流ギャラリー



---

## スタンプラリー

出展団体の各ブースで簡単なクイズに答えてスタンプをもらい、全ブースのスタンプが揃ったらすきな景品がもらえるスタンプラリーを今年も実施しました。参加者の皆さんからは楽しみながら様々な団体の人たちと言葉を交わし、活動の現状を知ることができてとても良かったと好評でした。



景品の一部

# 国際交流・国際協力のポスターコンクール表彰式

日時 11月15日(日) 11:00より

場所 アクロス福岡 2階 交流ギャラリー

中学生・高校生の若い世代に国際協力・国際交流へ関心をもつていただくために、今年度初めて、ポスターコンクールを実施いたしました。

審査委員長を、直方駅前に設置されている大相撲の魁皇関像を創作された「彫刻家」片山寛詞(かたやまひろし)先生にお願いし、福岡市立福岡西陵高等学校1年の秋山彩奈さんと矢部まつりさんが優秀賞を獲得されました。



左から

福岡西陵高校美術部顧問中山先生、同1年秋山彩奈さん、岩城実行委員長、福岡西陵高校1年 矢部まつりさん

## ○ NGO活動紹介ブース

国際協力・国際交流を行う 15 団体が  
出展し、それぞれ写真パネルの展示  
や、資料の配付等で日頃の活動内容を  
紹介し、またフェアトレード商品など  
の販売を行いました。



※出展団体数は、11月14日(土)・・・12団体  
11月15日(日)・・・15団体

あなたにもできる国際協力

**認定NPO法人 日本ハビタット協会**

TEL 03-3512-0355 FAX 03-3512-0358

日本ハビタット協会は国連ハビタットと共に紛争・貧  
困・災害などで悪化した居住環境を改善し、人々が安  
全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。  
展示による活動紹介を通して市民ができることを考  
えます。

九州唯一の国連機関「国連ハビタット福岡本部」の活動紹介

**ハビタット福岡市民の会**

TEL 080-7016-1557 FAX 092-525-1105

アジア太平洋地域の間居住や都市問題に、住民や自治  
体と共に解決法を考え取り組んでいる「国連ハビタット  
福岡本部」の活動を、勉強会やスタディーツアーなど  
を通して学習し、市民レベルで広報やイベント等を行い、  
支援の輪を広げる活動をしています。

日中両国民の相互理解は絆を深める

**日本中国友好協会福岡支部**

TEL 092-761-0604 FAX 092-761-0604

日中不再戦・平和を大きな柱として、戦争の歴史を正  
しく伝える活動と、中国への幅広い関心に応じて中国  
語講座・太極拳教室をはじめ多彩な楽しい文化的活動  
を展開しています。

友好の懸け橋＝「学生招待」事業20周年

**福岡・ウズベキスタン友好協会**

TEL 092-864-2420 FAX 092-864-2420

3大学と交流協定を結び、毎年2名の学生を一か月間招  
待している。福岡滞在中は、研究活動をはじめ大学・高  
校・中学校との親善交流を行っている。旅行では彼らの  
家族などを介して、現地の人々との交流を深めている。

児童労働のない未来へ。

**世界の子どもを児童労働から守る NGO ACE (エース)**

TEL 03-3835-7555 FAX 03-3835-7601

ACE (エース) は、世界の子どもを児童労働から守る  
ため、インドとガーナ、そして日本で活動する 1997  
年に学生5人で設立した NGO です。チョコレートや  
コットンなどの身近なモノを通じて、私たちにできる  
ことを考えてみませんか？

福岡から世界へ、世界から福岡へ

**特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク**

TEL 092-405-9870 FAX 092-405-9870

国際協力・交流分野の各分野で、地球市民的観点から活  
動に取り組む団体・個人のネットワーク組織です。国際  
協力の写真・関連書籍物品など展示販売、加盟団体の紹  
介、NGO に関する相談を受け付けています。

アジアグッズ・マーケット

**アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム**

TEL 092-920-1873 FAX 092-920-1873

いろいろな形の国際協力をご紹介します～アジア少数  
民族の伝統手工芸品の販売や、開発問題に取り組む政  
策提言活動など、こんなこともあり！ こんな時には  
こう！ こんな方法だってある！！・・・あなた  
の場合はどれ？

相互理解に努め、友情と連帯を強めたい

**日本ベトナム友好協会福岡支部**

TEL 090-5929-8297

現代ベトナムの状況を写真・図表で紹介し、コーヒーや  
雑貨などの展示・即売もします。また福岡支部の活動の  
一端も紹介。アオザイ姿のベトナム留学生も参加予定で  
す。ベトナムブースでの交流も楽しんでください。

健康から生まれる笑顔、つながる未来

**特定非営利活動法人 I SAPH**

TEL 03-3593-0188 FAX 03-3593-0165

「I SAPH (アイサップ) は、開発途上国の地域保健の向上を目指しています。ラオスとマラウイにおける、お母さんとこどもの健康増進のための住民参加型の活動の様子をご紹介します。

アジアのこどもたちの未来のために

**特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会**

TEL 092-844-1369 FAX 092-844-1369

バングラデシュの農村において「教育」「保健医療」「生活向上」の分野で国際協力活動に取り組んでいます。2012年4月に看護学校新設に向けたプロジェクトが発足して、現在、建設中です。

つないだ、つながった50年

**独立行政法人国際協力機構九州国際センター (JICA九州)**

TEL 092-733-5638 FAX 092-733-5635

JICA 事業の一つである青年海外協力隊は今年で50年の節目を迎えました。会場では、50年の歴史を振り返る展示を行い、国際協力に関心のある方のご相談を青年海外協力隊のOB/OGのみなさんが受けま

おかげさまで50周年!! 青年海外協力隊

**特定非営利活動法人九州海外協力協会**

TEL 092-415-6536 FAX 092-415-6518

私たちは、元青年海外協力隊員で組織された NPO 法人です。帰国後も国際協力活動のみならず、地域活動など様々な事業を展開しております。まずはブースに足を運んで、“元協力隊員が出逢った世界”に触れてみませんか?

途上国で泣いて、笑って、感動した仲間たち!

**福岡県青年海外協力協会**

TEL 090-7580-1415 FAX 092-415-6518

今年で設立50周年を迎えた青年海外協力隊、日系社会で活動した日系社会ボランティア、そして、40歳以上のシニアボランティアのOB・OGです。私たちの開発途上国での活動を見て、聞いて、何かを感じてください!

世界各地でふるさとづくり

**公益財団法人オイスカ西日本研修センター**

TEL 092-803-0311 FAX 092-803-0322

1961年に設立された民間のNGO団体です。現在、早良区にありますオイスカ西日本研修センターでは9カ国1地域15名の研修生が、毎日農業を中心とした研修に励んでおります。今年も研修圃場で採れた安心で安全な野菜と海外の民芸品を販売いたします。

1対1の顔が見えるガルニー奨学金

**福岡ガルニー連絡会**

TEL 090-7539-0816 FAX 092-407-6940

(公財) 国際センターはメコン5カ国の小中学生一人ひとりにガルニー奨学金を提供しています。

私たちはガルニー奨学金に賛同し、資金を提供している個人・グループの集まりです。

中村学園インターアクト部、在福岡・ラオス名誉領事館、福岡・ラオス友好協会と共に就学援助の為に活動をしています。



## ○ 世界を知るためのワークショップ

日時：11月14日（土）・15日（日） 13:00～15:00

会場：アクロス福岡 2階 セミナー室2

11月14日（土） 13:00～15:00

### テーマ：ネパール大震災から見る、国際協力

第一部：震災時カトマンズにいた宮崎さんによる体験談（約1時間）

第二部：「言葉が分からない」体験ゲーム 震災編（約1時間）

第一部ではネパール大震災のその瞬間にカトマンズのゲストハウスに滞在していた宮崎幸二さんにその時の体験をお話いただきました。

震災前に現地で長期ボランティアをしていた経験があり、震災の瞬間にその場に居合わせ、またその後も現地へ足を運び続ける宮崎さんにしか語れない、《その時何が起きたのか》、《避難生活の様子》、《五ヶ月経った今の様子》、《人々の感情》、《今後どのような支援を必要としているのか》を赤裸々に語っていただきました。

第二部では、言葉が通じない状況で災害に遭うという状況のシミュレーションを行い、国内に住む外国人の抱える問題や、海外で自分たちが被災した時のリスク、そしてそもそもの大災害に遭遇すると何が起きるのか、その時私達に何ができるのか、などということについて参加者みんなで考えました。

講師 宮崎 幸二(みやざき こうじ)

熊本県人吉市生まれ。

1987年電気通信大学短期大学部通信専攻科修了。

1989年（株）エフエムジャパン技術部入社。

1992年青年海外協力隊入隊。ネパール王国にて情報通信省ラジオネパールに配属。

帰国後は福岡市内及び熊本市内でのテレビ番組制作プロダクションを経て、（株）TNCプロジェクトに入社、TNCへ技術部員として派遣。

2014年に同社を退社後、ネパールを支援するための活動を始めようとネパールに渡航したところカトマンズ滞在中に大震災発生。被災した。現在はネパールの支援活動をしている。



震災直後のカトマンズ



講演の様子

## 国際協力検定

あまり国際協力に詳しくない人でも問題を解きながら世界の様々な課題と触れ合えるように工夫した問題を作成しました。全20問。制限時間30分。75%以上の正解者を合格としました。受験者10名全員が合格することができました。合格者には「認定カード」を差し上げました。

(問題)【例】

世界中で8億を超える人々が飢餓状態である。

飢餓の原因に関する以下の記述の内、正しくないものを選びなさい。

- 1 極端な食糧危機の背景には過去の紛争などの影響があることが多い。
- 2 人口爆発の結果、現在の世界の穀物の生産量では、全世界の人口を養うことができない。
- 3 自然災害や、農産物の国際価格の変動が、飢餓状態を悪化させることもある。

(正解) 2



受験中の様子



認定カード

## ○ 付随イベント

### 水汲み体験コーナー

参加者の方には、18リットルの灯油缶に入った水を持っていただき、裸足ででこぼこでツタの絡まった道を歩いていただきました。歩き終わったら、「お疲れ様でした」と係員がペットボトルの水を差し出します。しかし、その水は飲めそうにもない泥水です。このコーナーで、開発途上国の子供たちの主な仕事となっている水汲みの重労働と不衛生な水の事情を体験していただきました。





日本中国友好協会福岡支部による太極拳教室・二胡の演奏，福岡・ウズベキスタン友好協会によるベリーダンス，ハピタット福岡市民の会によるハーモニカ演奏，バングラデシュと手をつなぐ会によるオカリナの演奏が行われ，来場者の皆さんに楽しんでいただきました。



二胡の演奏



ベリーダンス



ハーモニカ演奏



オカリナ演奏



太極拳教室

## お茶コーナー ・ オアシス（休憩）コーナー

提供したのは、ベトナムのコーヒー、マラウィーのコーヒー、タイのコーヒー、抹茶（八女星野幸府の白）、バングラデシュのミルザプール紅茶、ウズベクティーの6種類です。  
今回は、イス12脚を用意したオアシス（休憩）コーナーを設置し、多くの方々に「美味しかった。」「ゆっくりできて良かった。」と喜んでいただきました。（2日間 受付人数 130名 売上げ総額13,000円）。



お茶コーナー



オアシス（休憩）コーナー

## 民族衣装着付体験コーナー

例年大好評の民族衣装コーナーには、今年も多くの来場者がありました。チマチョゴリなどの定番衣装のほか、キルギス、ウズベキスタン、モンゴル、コソボ、コロンビア、ベトナムなどの衣装に、今回はバングラデシュ・インド等南アジアの女性の民族衣装であるサリーを加え、バラエティーに富んだラインナップになりました。お気に入りの衣装を選んで着ていただいた後は、お持ちのスマホや携帯、カメラでの撮影サービスを行い、皆さんに大変喜んでいただきました。



# 〇 広報実績

## チラシの制作・配布

チラシは 13, 000 枚を印刷し、福岡市内の中学、都市圏の高校・大学、各公共施設、参加団体の関係先等に配布して広報に努めました。来場者の 26%が、広報用チラシを見てこのイベントのことも知ったとのアンケート結果もあり、今後も、関心を持って手に取っていただけるようなチラシを作り、さらに多くの方々の目に触れるような配布方法を考えたいと思います。

## ラジオ

- ・ラブFM (10月第4週～11月第2週 Rainbow Plaza Information)において、来場を呼び掛けました。
- ・ラブFMの「The Master of Style」に岩城委員長が出演されました。  
※The Master of Style (平日 12:20 から放送)  
日変わりで流行に敏感なその道の達人を迎え、旬の情報や街ネタを伺う番組です。

## 新聞

11/12(木) の毎日新聞の「催し」欄にワークショップの紹介記事が取り上げられました。

## 広報誌等への掲載

福岡市政だより (10/15 号)、月刊情報誌「ACROS」(11 月号)、福岡よかトピア国際交流財団情報紙「レインボー (英、中、韓)」(11/5月号)、福岡市情報プラザ通信 (11 月号)、あすみんの情報誌、福岡ピーキ

## ITの活用

今年もHPのほか、他の様々なサイト (福岡よかトピア国際交流財団、ふくおか協働ウェブ、ASUMIN WEB) やメルマガ (福岡よかトピア国際交流財団、あすみんメルマガ) を利用しました。今回から、広報班だけでなく、イベント班、ワークショップ班も Facebook に活動状況をアップしました。

## 毎日新聞

ワークショップ 11/14 (土)「ネパール大震災から見る、国際協力」が毎日新聞の取材を受け、12月18日にその内容が掲載されました。



## ○ 「地球市民どんたく2015」の諸計数

来場者 374人 (14日 152人, 15日 222人)

\*今年、入口からの入場者のみを計測しました。(昨年は出口からの入場者も計測)。

\*初日は小雨模様の天気が続いたこともあり、来場者数が伸びませんでした。

\*来場者の年齢は第1位が10代(18%)、続いて50代(16%)、男女比は4対6で女性が上回っていました。

ワークショップ参加者 36人 (14日 26人, 15日 10人)

スタンプラリー参加者 374人 (14日 152人, 15日 222人)

民族衣装着付け参加者 86人 (14日 31人, 15日 55人)

物販売り上げ 97,390円

8団体がフェアトレード商品などをブースで販売し、各団体の貴重な活動資金を得ることができました。

お茶コーナー売り上げ 13,000円

5団体がお茶を提供し、13,000円が集まりました。お茶を提供した団体の活動費として使用させていただきます。

募金(ネパール大震災被害者への寄付) 424円

ネパール大震災の被害者救済を目的に募金を行い、424円が集まりました。

この資金は、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームが「ネパール中部地震被災者支援」のために開設した専用口座へ振り込みを致しました。

※参考：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームは自然災害の被災者や紛争による難民救済を行っている団体です。

<http://www.japanplatform.org/>

発行 2016年1月

地球市民どんたく実行委員会事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館5F

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団 内

TEL 092-733-5630 FAX 092-733-5635

メールアドレス：[chikyushimin@rainbowfia.or.jp](mailto:chikyushimin@rainbowfia.or.jp)

HP：<http://chikyushimin.jimdo.com/>